

IV.小松島港・・・一般社団法人CS阿波地域再生まちづくり

『徳島小松島港赤石地区活用可能性検討調査』

- ◆ 実施期間 平成28年6月1日～平成29年2月14日
- ◆ 場 所 徳島県小松島市和田島町
- ◆ 目 的 赤石地区の大型岸壁はコンテナバースとして機能しており、近年は大型クルーズ客船が着岸するようになっている。一方、周辺には緑地が整備されたが地域住民には必ずしも有効に使われていない現状である。したがってこの緑地についてクルーズ客の歓迎とともに地域住民が有効活用できるよう、産学官民で連携して今後の活用の可能性検討調査を行う。
- ◆ 実施内容

本検討調査では、「取組①：検討委員会」「取組②情報共有会」「取組③社会実験」を実施した。

1・検討委員会開催

- (第1回) 基礎情報共有・関係者アセスメント等・アイデア
- (第2回) ワークショップ・アイデア・意見抽出①
- (第3回) ワークショップ・方策検討・プランづくり
- (第4回) ビジョンづくり・素案

2・情報共有会

検討委員会の結果情報共有と課題解決に向けた意見収集のため、2回開催。

3・海辺活動社会実験

海辺活動プログラム全体計画・プランモデル社会実験

徳島小松島港赤石地区親水広場を活用し、「海洋環境親子プログラム」を実施し、参加者を対象にアンケート調査を実施した。

取組①：検討委員会では、地域団体、行政、学識者・等の構成により産学官民の参加によるステークホルダー型の委員会を設置し全4回開催した。

第1回検討委員会では、各委員による当該地区に関する基礎情報の共有や把握を行い、活用の可能性を探るためアイデアのキーワードを抽出した。

第2回検討委員会では、具体の取組案を意見収集し可能性と課題項目を抽出した。

第3回検討委員会ではビジョンづくりに向けた方策検討を行い、体制を構築した。

第4回検討委員会では、第3回検討委員会の方策検討や体制づくり案をもとに、ビジョンの骨格を検討し素案づくりを行った。

取組②：情報共有会（第1回）

行政・地域団体の構成により検討委員会に関する情報共有と課題解決に向けた意見収集を目的として開催。第1回検討委員会の結果をもとに、情報共有を行い意見収集した。また委員会で出された取組内容について法令等の関係について研修勉強を実施。

取組②：情報共有会（第2回）

1回から4回検討委員会の結果をもとに情報共有を行った。また、次年度の方向性や社会実験の連携方法や体制等について検討。

「徳島小松島港赤石地区活用可能性ビジョン」の概要(抜粋)

基本方針

徳島小松島港赤石地区は、徳島県内最大規模の国際貿易港として物流拠点機能の役割を担っている。近年は大型クルーズ客船の入港増加に伴い、物流と交流の視点における活用の可能性や新たな活性化へ繋がる取組を検討し将来へのビジョンとして示す。

基本方針イメージ(案)

- ①「港」・・・本来に開く港づくり
- ②「緑」・・・自然と人の共存づくり
- ③「人」・・・次世代への育成と活力創出づくり

活動ビジョン ○取組計画期間:平成28年～平成32年度(3カ年～5カ年)

本取組は、3カ年を期間としPDCAサイクル手法により、取組(ハード整備・ソフト整備)を継続的に実施し必要に応じて改善する。平成28年度・平成29年度上期を計画とし平成29年度・平成30年度は実施や実践を行い下期には評価・改善を行う。

空間機能ビジョン

徳島小松島港赤石地区は港湾空間であり、現状の主たる機能は物流機能として国際貿易港の役割を担っており、周辺には港湾関連産業空間機能、緑地空間機能、自然エネルギー空間機能、スポーツ空間機能で構成されている。一方近年、大型クルーズ客船の寄港による外国人の来訪や周辺の緑地・スポーツ施設等も市内外より訪れる人々が増加しており上記の機能も含めて今後の港湾空間のあり方や多様な空間形成による機能の充実や多様な広がり求められる。本調査では、今後の港湾空間の機能の広がりや空間機能の可能性をつぎのとおり示す。

地域ヒアリング結果・関係者ヒアリング結果、地域アンケート結果、委員会委員からの意見を収集し**5種の機能分類を確定**した。

①防災機能

- ・災害時の安全な場所の整備
- ・防災機能強化、トイレ駐車場安全空間

②物流機能

- ・海陸交通結末機能
- ・クルーズのための整備・補修等

③環境機能

- ・保全、生物共存、水環境の再生
- ・人工海浜の改善、植樹

④交流機能

- ・賑わいの場免税店、施設づくり海辺の遊び場、飲食空間、漁村食材機

⑤産業機能

- ・地場産業の協働加工場
- ・貯木場を活用した新産業



「徳島小松島港赤石地区活用可能性ビジョン」の概要(抜粋)

平成28年度徳島小松島港赤石地区活用可能性検討委員会委員構成

- 徳島大学 都市デザイン研究室
- 国土交通省四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所
- 徳島県国土整備部 運輸政策課
- 徳島県議会議員
- 小松島市産業振興課
- 小松島市議会議員
- 徳島大学地域創生センター
- 小松島市防災建設協会
- 和田島学童保育クラブ
- 和田島漁業協同組合
- 和田島漁業協同組合女性部
- 和田島婦人防火クラブ

成果のアウトプット

- 成果①：徳島小松島港赤石地区における新しい産学官民の連携体制の構築
- 成果②：地域女性主体による活動の方向性の確立
- 成果③：地域主体による活動の広がりとモデルプラン実践効果
- 成果④：クルーズ客船歓迎イベント等による利活用のビジョンづくり

同委員会を継続しながら平成29年度は「アクションプラン計画を策定」し具体的な個別プログラム(漁村体験・婚活イベント・海の運動会等)の実践や週末常設型バーベキュー広場の運営を展開。

平成29年度は、アクションプランの策定とともに下記のプログラム実践を行うとともに委員会等では将来の「みなとオアシス」認定に向けた新制度の学習を行いオアシスの範囲等を検討することを予定している。



海洋環境調査	海辺の清掃活動	委員会の継続
週末常設型BBQ 社会実験	流木活用プログラム	
海の運動会開催	漁村体験プログラム	住民ワークショップ開催(計5回)
クルーズ物産PR	海の婚活プログラム	